

図書館だより

2022年1月号
徳島北高等学校図書委員会

「春をよぶ読書週間」の展示について

期間： 令和4年1月17日(月)～2月4日(金)

場所： 図書館内 & ガラスのストリート

内容：(1) 図書委員(前期・後期)の思い出の1冊(紹介文と本の展示)

前期図書委員の分は、文化祭の展示の再展示です。

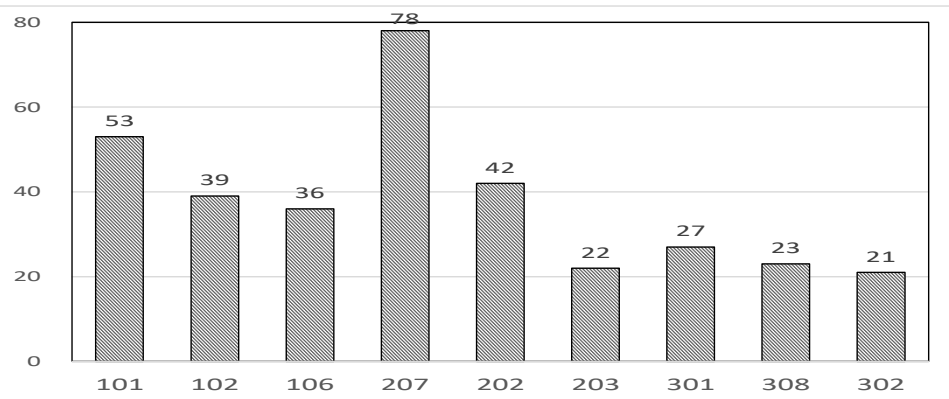
(2) 先生方の思い出の1冊・おすすめの1冊

紹介文を冊子にしています。じっくりお読みください。

※期間中、図書館に来てくださった方に、プレゼント(手作りしおり)をします。
誘い合わせて、ぜひ見に来てください。



学年別クラス別貸し出し冊数 BEST3(11月・12月)



- 忙しい毎日ですが、読書を通して心豊かな生活を送りましょう。読書を習慣にすることで、読解力を身につけることができます。読解力は短期間で身につくものではありませんが、どの教科の学習をするにも基礎となる大切な力です。また探究の調べ学習、進路を考える際にも、図書館をどんどん活用してください。何か探す本があれば、司書の先生に気軽に声をかけましょう。
- 3年生は、借りているすべての本を1月末日までに返却しましょう。特に督促の連絡があれば、速やかに図書館まで返却してください。但し、2月からも必要な本は特別貸出の手続きをして貸し出せます。3月末まで、受験の参考にした本はもちろん、身近に利用できる図書館をしっかりと活用してください。

図書委員のおすすめ本

(◆の本は図書館にある本、●の本は発注中の本です)

●『小説の神様』 相沢沙呼 著 206HR図書委員

主人公の千谷一也は売れない高校生作家。そんな一也が人気高校生とタッグを組んで、1つの作品を作り上げていく話です。作品づくりが上手いかずに悩む一也に、勉強や部活動で苦しんでいる人は思わず感情移入してしまうでしょう。また、一也にかけられるたくさんの言葉は、今の高校生の心に刺さるものばかりです。「うじうじ、ぐだぐだ、不満ばかり言って筆を進めない奴と、涙を流して、血を吐きながらペンを進める奴。神様はどっちに味方してくれると思う？」この言葉は私に力を与えてくれました。苦しい時も、楽しい時も、自分だけしか持っていない物語であると気づかされる高校生にぴったりの1冊です。

◆『僕が愛したすべての君へ』 乙野四方字 著 107HR図書委員

もっとテストでいい点を取れたかもしれない。誰もがそう思ったことがあるでしょう。私もそうです。そして「どうせ自分はダメな奴だ」と諦めていました。しかし、この本を読んで「もしかすると別の世界ではいい点だった自分があるかもしれない」と前向きな考えを持つようになりました。この本では、並行世界の存在が立証されて一般に浸透しています。並行世界とは、朝はご飯の自分と違い、パン派の自分が居るなど、人物や物事が少しずつ本来とは違う世界のことばかりです。複数の世界を跨ぎ、複数の自分が入れ替わりながら進んでいく、斬新な物語です。ぜひお試しください。

●『最後は会ってさよならをしよう』 神田湊 著 107HR図書委員

私は神田湊さんの『最後は会ってさよならをしよう』をおすすめします。この本は140字で読み切れるとても短い話や、短編小説などが収録されています。毎日忙しくて本を読む時間がない人にも1つの話が1ページで読めるこの本をおすすめしたいです。またこの本は、短い文の中にたくさんの心を動かす言葉が入っています。きっと何度も読み返したくなる本になると思います。ぜひ読んでください。

★4月～12月の貸出ランキング上位の小説・エッセイ

- 52ヘルツのクジラたち 町田そのこ 著
- Another 綾辻行人 著
- この本を盗む者は 深緑野分 著
- 人間失格 太宰治 著
- オルタネート 加藤シゲアキ 著
- 死にたいけどトポッキは食べたい ペク・セヒ 著
- Another エピソードS 綾辻行人 著
- かがみの孤城 辻村深月 著
- 恋する寄生虫 三秋緋 著



